

格付けの更新について

広島信用金庫（理事長 武田 龍雄）では、株式会社日本格付研究所（JCR）より、前回に続き、格付「A」（シングルAフラット）を取得しましたので、お知らせいたします。

記

1. 格付結果

格付け対象	長期発行体格付
格付け	『 A 』（シングルAフラット） 【前回と変更なし】
格付け見通し	『 安定的 』 【前回と変更なし】

2. 格付事由

- ・格付は、相応の収益力、小口分散の効いた貸出資産の質、リスク対比でみた資本の充実度などを反映している。
- ・預貸率が高く、資金決済や金融商品販売等にかかる非金利収益の貢献が大きいため、ROAは比較的高い水準にある。
- ・与信先の管理はきめ細かく行われており、与信費用が急増するリスクは低い。
- ・市場リスク部門でのリスクテイクは慎重に行われており、資本対比の金利リスク量はかなり小さい。
- ・資本の質と量は充実しており、現状の水準を維持する可能性は高い。

3. 取得日 令和2年10月8日

【ご参考】

◎ 長期発行体格付の定義

AAA	債務履行の確実性が最も高い。
AA	債務履行の確実性は非常に高い。
A	債務履行の確実性は高い。
BBB	債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来債務履行の確実性が低下する可能性がある。
BB	債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない。
B	債務履行の確実性に乏しく、懸念される要素がある。
CCC	現在においても不安な要素があり、債務不履行に陥る危険性がある。
CC	債務不履行に陥る危険性が高い。
C	債務不履行に陥る危険性が極めて高い。
LD	一部の債務について約定どおりの債務履行を行っていないが、その他の債務については、約定どおりの債務履行を行っているとしてJCRが判断している。
D	実質的にすべての金融債務が債務不履行に陥っているとJCRが判断している。

※AAからBまでの格付記号には同一等級内の相対的な位置を示す区分として、「プラス（+）」、「フラット（符号なし）」、「マイナス（-）」の三段階があります。

※長期発行体格付とは、債務者（発行体）の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。